

地域における国公有財産の最適利用(山形県鶴岡市)

～ 国の合同庁舎と市の防災資機材庫の合築整備 ～

○ 事案の検討が始まった契機

平成14年7月に国土交通省のシビックコア地区として「鶴岡文化学術交流シビックコア地区整備計画」を鶴岡市が策定した。特に、同地区のうち旧鶴岡市立荘内病院跡地を中心とした街区をアクションエリアと定め、合同庁舎の整備を契機として都市基盤整備事業等を重点的に事業化するエリアとしている。

○ 基本方針等

市内に分散する行政機関(現状はシビックコア地区外に所在する職業安定所及び同地区内に所在する検察庁・税務署の計3官署)について、鶴岡第2地方合同庁舎をシビックコア地区に整備のうえ集約立体化させるとともに、市の防災資機材庫との合築をする。合同庁舎敷地については、市有地(旧鶴岡市立荘内病院跡地)と国有地との交換により確保する予定。

○ 事案のポイント

鶴岡市は、「鶴岡文化学術交流シビックコア地区整備計画」に基づき合同庁舎が建設されることにより、積年の課題であった中心市街地におけるシビックコア事業の完成がみられることに加え、合同庁舎と市の防災資機材庫を合築整備することにより、防災機能の更なる充実を図る。

国は、老朽や狭隘が進み、市内に分散している行政機関を集約立体化することにより、老朽・狭隘の解消と国民利便性の向上を図る。

○ 施設の概要

所在地	山形県鶴岡市馬場町2番22外2筆
延床面積	国3,668㎡、鶴岡市防災資機材庫70㎡
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階
入居官署	
国 :	山形地方検察庁鶴岡支部・区検察庁 鶴岡税務署
市 :	鶴岡公共職業安定所 防災資機材庫

○ 整備スケジュール

敷地調査、設計	平成29～30年度
建設工事	平成32～34年度
新庁舎使用開始	平成34年度以降

